

# 六花の輝き

＜教育目標＞

喜んで登校し、  
生き生きと学ぶ子ども

〒943-0805 上越市木田3-1-25

TEL 025-523-3858 FAX 025-525-7188

E-mail takashi@jorne.or.jp

## 令和2年度後期 学校評価（報告）

本校では、教育目標「喜んで登校し、生き生きと学ぶ子ども」の具現をめざし教育活動に取り組んでいます。今回、教育活動を【1, 学び：「学力の向上」】【2, かかわり：「豊かな心、社会性の育成」】【3, 健やか：「健康、体力づくり」】の観点から、子どもたちの様相や学校としての取組状況はもとより、子どもたちや保護者の皆様、教職員のアンケート結果等を参考に、2学期の教育活動の点検・評価を行いました。今回の結果に基づき、3学期以降の教育活動の改善に取り組んでいます。

\*数字は、4段階評価の「とてもそう思う」「少しそう思う」の割合の合計（以下、「肯定率(%)」）

### 1 学び：「学力の向上」



#### (1) 児童アンケートより

項目	1学期	2学期	+-
口を閉じて、先生や友達の話をしっかりと聞いている。	94.1	96.7	+2.6
相手の方を見て、聞こえる声で話している。	95.2	93.2	-2.0
授業がよく分かる。	95.0	96.5	+1.5
話し合いで、考えが確かになったり、深まったりしている。	90.8	92.4	+1.6
決められた時間、家庭学習をしている。	92.4	92.6	+0.2

- ・1学期同様、どの項目も肯定的評価が90%を超えています。話の聞き方については、1学期より肯定的評価が向上しました。全校や学年で集まる際も、すぐに目と耳を話し手に向く子どもの姿が見られます。一方、話し方に関しては、肯定的評価が下がり、聞くことよりも苦手意識をもつ子どもも少なくありません。話し合いで考えが確かになったり、深まったりしたことを実感している子どもが増えているので、今後も自分の考え等を積極的に伝えられるよう、3学期も思いや考えを伝え合う機会を大切にされた教育活動に取り組んでいきます。

## (2) 保護者アンケートより

項目	1学期	2学期	+-
学校の勉強について「分かった」「できた」という思いを感じている。	86.5	86.6	+0.1
「学びのスタンダード～家庭学習編～」の約束を守って、家庭で学習している。	77.6	75.9	-1.7

- ・家庭学習に関しては、全体の4分の3が肯定的評価ではありますが、4分の1が不十分と感じていることがうかがえます。1月末から「家庭学習がんばり週間」を実施しました。この取組を契機として、継続的に働きかけていきたいと思えます。ご家庭でも意識的に言葉かけや環境づくりにご協力ください。

## (3) 教職員アンケートより

項目	1学期	2学期	+-
口を閉じて、先生や友達の話をしっかり聞いています。	66.7	69.0	+ 2.3
相手の方を見て、聞こえる声で話している。	44.4	58.6	+14.2
話し合いで、考えが確かになったり、深まったりしている。	65.4	96.6	+31.2

- ・教職員の評価では、1学期よりも肯定的評価の向上が見られました。2学期は、授業等でペアやグループ・全体で話し合いの機会を意図的に設けてきました。その中で、「聞く（聴く）・話す」の力も確実に向上しています。しかし、子ども自身の評価とはまだ開きがあります。これは、目指すべきところの乖離が子どもと教師にあることが原因です。学年に応じて、子どもと聴き方や話し方について、「何ができていて、何ができていないのか」を共有した上で取り組んでいます。



## 2 かかわり:「豊かな心、社会性の育成」

### (1) 児童アンケートより

項目	1学期	2学期	+-
学校に来るのが楽しい。	96.1	96.9	+0.8
学級や縦割り班で活動するのは楽しい。	94.6	96.3	+1.7
自分にはよいところがあると思う。	88.0	89.7	+1.7
「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」などのあいさつをしている。	94.1	93.9	-0.2
学校のルールやマナーを守って生活している。	95.4	95.4	0

- ・学校に来るのが楽しい、活動が楽しいと評価する子どもが約96%ととても高いものがありました。しかし、全体の約4%（全校児童の18人程度）がそうではないと感じているということから、目をそらさず、どの子どもも楽しいと実感できるよう、より一層一人一人の子どもに寄り添っていきます。
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」については、僅かながら向上しました。2学期は、友達のよさが頑張りを付箋に書いて渡すメッセージ交換を意図的に実施しました。友達から認めもらうことで自信につなげ、相手を認める気持ちの高まりにもつながっていました。

## (2) 保護者アンケートより

項目	1学期	2学期	+-
学校に行くことを楽しみにしている。	92.8	93.3	+0.5
思いやりの気持ちや、いじめ・暴力を許さない態度が育っている。	91.3	93.7	+0.4
ルールやマナーを守る態度が身に付いている。	84.6	88.7	+4.1
家庭や地域で「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」などのあいさつをしている。	73.0	79.2	+6.1

- ・どの項目も1学期より肯定的評価の向上が見られました。特に「あいさつ」については、約80%の方が肯定的に捉えていました。家庭や地域での取組に感謝いたします。今後も積極的な声かけや働きかけをお願いします。

## (3) 教職員アンケートより

項目	1学期	2学期	+-
子どもは活動を楽しんでいる。(子ども：学校に来るのが楽しい)	92.6	100.0	+7.4
「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」(ありがとうございます)などのあいさつをしている。	74.1	69.0	-5.1
学級や学校のために、当番(給食、そうじ)や係の仕事をきちんとしている。	88.9	93.1	+4.2
学校のルールやマナーを守って生活している。	66.7	75.9	+9.2

- ・挨拶に関しては、1学期よりも教職員の肯定的評価が低くなりました。挨拶が定着化してきた一方で、職員からは「まだまだ来客や友達に対して自分から挨拶できる子どもが少ない」「挨拶運動では元気な声が聞かれるが、その場だけで終わってしまい定着していない」という声もありました。今後も継続して指導に力を入れていきます。
- ・当番や係の仕事をきちんとする、ルールやマナーを守って生活することについては、1学期より肯定的評価の割合が増加しました。しかし、廊下で鬼ごっこなどをして遊んだり、遊んでいることを注意されても素直に聞き入れなかったりする子どもが低学年を中心に見られます。冬季は、天候によって遊び場が限定されてしまいますが、怪我の防止も含め、「廊下では遊ばない」というルールを職員一同指導しています。



## 3 健やか：「健康、体力づくり」

### (1) 児童アンケートより

項目	1学期	2学期	+-
進んで汗をかくまで、遊んだり運動したりしている。	89.3	84.5	-4.8
メディアのルールを決め、守るようにしている。	87.1	90.8	+3.7
毎日、バランスを考えて朝ごはんを食べている。	84.5	83.6	-0.9
決められた時刻までに寝ている。	83.0	78.4	-4.6
めあてや目標に向かって同じ学年の友達や他の学年の人と運動することは楽しい。	89.3	91.7	+2.4

- ・「進んで遊んだり、運動したりする」「友達や他の学年と運動することは楽しい」という質問に対する評価が1学期よりも向上しました。2学期のタカリンピックや運動会が影響していると思われます。
- ・メディア活用のルールについては、メディア講習会や各学級での取組により、ルールを守ろうとする

意識の向上につながっていました。しかし、朝食や睡眠といった家庭での生活に対する項目の肯定的評価が1学期よりも低下しました。夜遅くまでゲームをしたり、YouTube で動画を見たりし、朝から眠そうにしている子どももいます。

### (2) 保護者アンケートより

項目	1学期	2学期	+-
「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身に付いている。	79.1	77.0	-2.1
ご家庭では、メディアのルールを決め、守るように働きかけている。	79.8	79.4	-0.4

- ・基本的な生活習慣では、子どもと同様に、1学期よりも肯定的評価の割合が減少しました。メディア活用のルールの徹底とともに、家庭での生活習慣について、健やかな子どもの成長に向けた取組を引き続きよろしくをお願いします。

### (3) 教職員アンケートより

項目	1学期	2学期	+-
子どもは、進んで運動したり遊んだりしている。	92.6	72.4	-20.2
子どもは、メディアのルールを決め、守るようにしている。	29.6	44.8	+15.2
めあてや目標に向かって、同じ学年の友達や他の学年の人と運動することは楽しい。	77.8	93.1	+15.3

- ・タカリンピックや運動会に向け、仲間と運動することを楽しんでいる様子がたくさん見られました。しかし逆に、休み時間等の様子を見てみると、進んで運動したり遊んだりしている子どもについては、1学期よりもコロナ禍や天候不順等の影響が減っているように感じました。3学期は、外で遊ぶ機会も減少しますが、雪遊びの楽しさも実感できるようにしていきたいと思います。
- ・メディア活用のルール遵守については、1学期よりも随分と向上したように思います。しかし、半数の職員が不十分と感じています。家庭と連携しながら継続的な指導に努めてまいります。

## 保護者アンケート自由記述より

2学期も多くの保護者の皆様から今後につながる貴重なコメントをいただきました。その一部と学校からの回答（四角囲みの中）を紹介します。



#### ①学校行事

- ・行事の内容は、目的に合っているものなのか、本当に必要なものなのか、今回のコロナウイルス感染症対策を機会に検討することはよいと思います。（4年生保護者）
- ・今年はコロナの影響で運動会が秋で半日でしたが、厳選された種目で内容が十分でした。大満足です。テントも張ってなくて見やすかったです。来年以降も同様でお願いします。学校行事も少なかったです。落ち着いて学習に取り組めた様子でした。来年以降も行事の見直しがあってもよいのかもと思いました。（5年生保護者）

- ・2学期は、宿泊体験学習、運動会と大きな行事が続き大変そうでしたが、コロナで活動の制限がある中、多くの体験をさせていただき、子どもはとてもうれしそうでした。例年とは違う運動会。仲間と協力する競技が増え、見させてもらい楽しめました。とてもよかったです。ありがとうございました。(6年生保護者)

⇒今年度は、やむを得ず中止や例年と内容等が変更となった行事や活動もありましたが、コロナ禍を機に行事等を再度見直す機会にもなりました。来年度も、今年度同様に新型コロナウイルス感染症を視野に入れた行事や活動になりますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ②学習

- ・家ではタブレット学習を始めたところ、積極的に毎日しています。宿題や音読も声かけをしてもギョーギョー言わなくなりました。(2年生保護者)

⇒国の「GIGAスクール構想」を受け、新年度より全校児童一人1台ずつのiPad端末が配当されます。その端末は個人用で基本的に6年生まで使用することになります。iPad端末を家庭に持ち帰ることはできませんが、各教室に常備し、授業等で活用していきます。

- ・各クラスに学習進度の差ができるのは出るのは仕方のないことかと思いますが、宿題はできるだけ統一した方がいいと思います。クラスで学習する量が変わってしまうのは公平でないと思います。量ややり方をそろえていただけるとありがたいです。(1年生保護者)

⇒家庭学習(宿題)に関しては、学級ごとに学習進度がいつも同じではないので、内容を統一することは難しいですが、量や取組方については学級差が大きくならないよう、学年内で話し合っ  
なるべく統一していきます。

- ・苦手教科(特に算、国、英)は、中学のように専門の先生の授業、または学年でレベルに合わせ2～3くらいのグループで授業を進めていただけるとありがたい。(5年生保護者)

⇒3学期、6年生の算数で少人数の習熟度別学習を始めました。学習の進め方に応じて4クラスに分け、児童の希望も聞きながらクラス編成を行いました。現在、その学習を進行中です。また、新年度は可能な限り教科担任制を導入し、より多くの眼で子どもたちを見守ります。

## ③メディアの利活用

- ・テレビやゲームはつい夢中になり、約束の時間を過ぎてしまうので、タイマーを使って時間を守るように促しています。先日のメディア学習で学び、本人なりにも時間を気にするようになりました。(1年生保護者)
- ・「メディア学習会」を受講しても、聞いたその時は「ルールを守らなくては」という気持ちをもつのですが、すぐに長時間のゲーム、タブレット…で本当に体や心に影響が出ないと自覚しないのかと思っています。(5年生保護者)

⇒ご家庭でお子さんと話し合っ  
てメディア利用のルールを設けていただいていることに感謝します。メディア講習会で確認したことをもとに、習慣化するまで根気よく続けていけるようお願いいたします。まずは、先日取り組んだ「さわやか高志」で、お子さんの生活を再度見直していただければと思います。

## ④あいさつ

- ・あいさつは家庭内で、家族間ではしますが、地域の方やお友達に対しては抵抗があるようです。春以来、声かけをして、少しずつできるようになってきているところです。(2年生保護者)
- ・あいさつを恥ずかしがってしないか、小さな声なので、大人が周りに積極的にあいさつをするように心がけています。(1年生保護者)

⇒「おはよう」「おやすみなさい」という一日の始めと終わりの挨拶。「いってきます」→「いってらっしゃい」、「ただいま」→「おかえり」といった双方向の挨拶。家庭でのコミュニケーションが基本だと考えます。それができると、しだいに地域や友達にも自然とできるようになると考えます。保護者の記述にあるように、まずは、地域や家庭そして学校で、私たち大人が見本となって率先して挨拶をする姿を見せていきましょう。

#### ⑤その他

- ・コロナで学校へ行く機会が少なく、学校での様子がわからないのが残念です。(2年生保護者)
- ・図書活動に力を入れていてとても素晴らしいと思います。子どもの読書にもよい影響を与えてくれていて、これからもお手伝いできそうなことがあればどんどん話を出してほしいと思います。(2年生保護者)
- ・保護者ボランティア参加や運動会等において、各クラスの担任の先生方、受け持ちの児童関係なく、子どもたちのことをよく見てくれていると感じています。子どもからも、学校での出来事を話してくれる際に、「〇〇先生はこんなことができるんだよ。～なことを話していたよ」と先生方の話をよく聞くので、よい環境で学校生活を送れているなあと感謝しています。(3年生保護者)
- ・先生によく見ていただいていることが、毎日の娘の話からよくわかります。大変ありがとうございます。(5年生保護者)

⇒コロナ禍で例年に比べると学校で子どもたちの様子をご覧いただく機会が少ないことを心苦しく思っています。今後も学年だよりやHP等で活動の様子を積極的にお伝えしていきます。また、少ない機会にもかかわらず、時間を見つけて総合の校外学習の引率や図書ボランティア等でご協力いただいていることを嬉しく思います。今回の大雪に伴う休校明けの登下校時にも、多くの方から見守っていただき、ありがとうございました。今後とも高志の子どもたちのために、ご協力をお願いします。

## 第3回学校運営協議会から

2月18日に第3回学校運営協議会が開催され、後期の学校評価や教育活動について、各委員の皆様から協議していただきました。それぞれお立場からいただいた、ご意見等を今後の学校運営に生かしていきます。

### 【ご意見（一部抜粋）】

- ・様々な会議で、「子どものあいさつが今一つ」という声が上がっている。自分から相手に聞こえる声であいさつができることにこしたことはない。中学生になると、自分からあいさつをする生徒が増えているが、小学生ではなかなか難しい面もあるのではないかな。
- ・幼稚園や保育園では、車やバスでの送迎がほとんど。小学生になると歩いて登校することになる。そこで、見知らぬ地域の人に急にあいさつするのはなかなか難しい面もあるのではないかな。
- ・地域の人でも顔見知りになると、あいさつを返してくれるようになる。気持ちが通じて「この人に・・・」と思ったら声が出る
- ・あいさつが一方通行ではがっかりする。相手との気持ちの通じ合いだと思っている。
- ・横断歩道で停車すると「ありがとうございます」という子が増えている。言われるとうれしくなる。日常のあいさつができるようになっていっていると感じている。
- ・授業参観でいくつかの教室を回ったが、全体に落ち着いて学習に取り組む姿が見られた。聞く・話すに重点を置いている成果だと思う。先生方も、落ち着いて授業をし、子どもたちの考えをしっかりと聞いている先生が増えた。
- ・校内掲示の子どもの作品には、その子らしさの思いや考えが表出されていた。
- ・例年文化祭で、保護者だけでなく地域の方にも生活科や総合の学習成果をお返しするという意味も込めた発表があった。しかし、新年度も文化祭が実施されないことから、そのような機会はどうなるのか。その点についても視野に入れて年間のカリキュラムマネジメントしていく必要があるのではないかな。
- ・これまでは、学校での行事や活動が忙しく、子どもがストレスフルの状態であったこともあった。よって、行事を精選していくという今後の方向性には賛成である。

#### \* ご意見を受けて

- ・あいさつは強制かつ形式的なものではなく、人と人とのつながりを示す行為でもある。今後も様々な人とのかかわりを深めていくような活動を大切にしていく。
- ・コロナ過でなかなか保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会がもてない実情もある。しかし、身近な地域のものや人とのかかわりを核にしている生活科や総合的な学習である。そこで、保護者や地域の方への発表等を通じた活動を、必要な学年が必要な時期に随時行っていく。
- ・行事等の精選については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も念頭に置きつつ、「喜んで登校し、生き生きと学ぶ子ども」を具現するために、何を、どのように実行していくことが子どもにとってよいことなのかを大事に熟考していく。

#### 【令和3年度の主な行事(予定)】

- ・4月8日:入学式      ・5月28日:なかよしウォーク      ・7月9日:校内音楽会
- ・9月2~3日:6年生修学旅行      ・10月9日:運動会(午前半日開催)
- ・3学期…3~6年生スキー教室      ・3月24日:卒業式